



# 萩間川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～河道掘削、水門の改良等による被害の軽減及び流域治水対策の推進～

- 萩間川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
  - 【短期】 河川整備計画に基づく、河川改修や河道掘削、水門の機能維持を実施する。  
加えて、被害軽減のために内水氾濫対策の強化や公共施設の雨水貯留浸透施設の整備を検討するとともに、流出抑制対策の推進を行う。
  - 【中期】 浸水被害軽減のために校庭貯留や公園貯留などの雨水貯留浸透施設の整備を推進する。  
浸水リスクを考慮したまちづくりのため、都市計画マスタープランへの位置づけを行う。
  - 【中長期】 浸水被害の軽減のため、河川整備計画に基づく河川改修や河道掘削を引き続き実施する。  
併せて、市と連携したハザードマップの周知及び住民の水害や土砂災害リスクに対する理解促進の取組など、ソフト対策による短期からの継続的な取組により、流域住民全体の防災意識の向上を図る。

## ■事業規模

### ・河川対策

全体事業費 約21億円 ※1  
対策内容 河道改修、河道掘削 等

※1：整備計画の残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

※調査・検討から着手する施策については地権者の協力等、関係者間の調整が整った箇所から実施

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流下能力向上のための河川改修の実施 水門の機能維持	静岡県・牧之原市	整備計画に基づく河川改修、水門の機能維持		
	内水氾濫対策の強化	牧之原市	調査・検討	内水氾濫対策の強化(雨水幹線、排水ポンプの整備、排水系統の見直し)※	
	河川への流出を抑制する 雨水貯留浸透施設の整備	静岡県・牧之原市	調査・検討	雨水貯留浸透施設(校庭貯留、公園貯留等)の整備※	
	農業水利施設の活用	牧之原市	調査・検討	農業水利施設の活用(ため池の活用や適正管理)※	
	流出抑制対策の推進	静岡県・牧之原市	調査・検討	流出抑制対策(各戸貯留、水田貯留等)の推進※	
	砂防施設等の整備、森林整備・治山事業	静岡県・牧之原市			
被害対象を減少させるための対策	土地利用の適正指導、無秩序な開発抑制 災害ハザードエリアの開発抑制 まるごとまちごとハザードマップの推進	牧之原市	調査・検討		
	水災害リスクを踏まえたまちづくりの推進 (都市計画マスタープランへの位置づけ)	牧之原市			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白域の解消	静岡県・牧之原市	洪水浸水想定区域図作成、ハザードマップの作成、土砂災害警戒区域標識等の設置		
	ハザードマップの周知及び住民の水害や土砂災害リスクに対する理解促進の取組	静岡県・牧之原市	マイ・タイムラインの推進、住民及び小中高等学校への水防災教育、出前講座、避難訓練等		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	牧之原市			
	サイボスレーダー等による河川水位情報等の提供	静岡県・牧之原市			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

【短期】概ね5年 【中期】概ね10年目まで 【中長期】概ね11年目以降